

例会報告

第2350回例会報告議事録
日時 26年8月19日(火曜日)
場所 ホテル マークワン 我孫子
時間 12:15点鐘

ロータリーソング「奉仕の理想」
ゲスト:なし

会長挨拶

上村文明会長



お盆明けで、皆さん体調の方はいかがでしょうか。若干今日は人数が少ないようです。先々週の例会閉会后に理事会が行われました。志賀会員がスリランカ世界遺産の旅行のお声掛けを皆さんにしたいということで理事会で承認されました。今日はまだお盆の行事が忙しく欠席されていますので、来週ご案内させていただきます。

スポーツ振興団の応援団の会費1万円、バードフェスティバルの協賛金5万円も承認いただきました。

50周年記念事業委員会について、予算があまりない為、進行の方法、また組織図について議論がありました。組織図についてはほぼ決まりまして、今月末くらいには活動計画書が出来上がりますので、後日見ていただければと思います。

8月10日に地区奉仕セミナーが三井ガーデンホテルで行われました。小池国際奉仕委員長と行って参りました。

8月6日に会長幹事会がありました。情報研究会について丸田会員の方からお話があると思います。10月16日の第12分区のIMでRI会長だった田中作次さんが基調講演をされるそうです。

8月23日に会員増強・退会防止委員会が行われます。委員長と幹事さんが行ってくださいます。よろしくお願い致します。

「グローバル ディベート ウィズダム」という番組をBS3で放送しているのですが、先日「21世紀の資本論」というフランスのピケティという方が書いた本について放送されていました。いいなと思い録画していたところ、東京新聞にもこの本について記事が載っていました。「21世紀の資本論」はアメリカで今、ベストセラーになっている本です。150年位前にマルクスが資本論という本を書きましたが、今、資本主義時代の資本論をデータから見直そうということで、色々な識者が意見を述べていました。

150年前にカール・マルクスが「資本論」で、資本主義は格差社会を生み出す矛盾に満ちたものだと書きました。現在の資本主義の世の中では格差が非常に拡大しており、その格差の拡大がこれからの資本主義を崩壊させるのではないかとピケティさんは「21世紀の資本論」で書いています。

資本収益率と国民総生産ですが、常に資本収益率が勝っており、格差が拡大して行きます。現実にはブラジルでは、生活が苦しい中でオリンピックなんかやってる場合ではないとストライキが起きたりしました。資本による所得と労働による所得が非常に離れているということです。資本は蓄積している資本が利益を呼び、また資本が蓄積されていく一方、労働者は中間層から落ちこちて行く、そういう世の中になっています。

日本でも我々が若い頃と比べると今の若者はプアであり、この論理は当たっているのかなと思います。資本主義は格差を拡大するものであり、後世にまで蓄積されます。金持ちの子どもは良い教育を受けられるので、その後も裕福になる要素を持っています。

資本収益率と経済成長率を比べた時に、常に経済成長率の方が低いという構造は根底的にあります。ただ、1940年から1945年位の間に第一次世界大戦、第二次世界大戦があり、資本が崩壊され、その時だけ経済成長率が良くなりました。経済成長率が高かった時代は例外的であり、これからも資本蓄積が多くなり、アメリカでは上位1%の所得層が国民総所得の20%を占めているそうです。日本は上位1%の所得層が国民総所得の10%を占めています。

資本蓄積がある程度限界になってくると、蓄積された資本から利益がなかなか生み出せず、その資本家たちは経費削減で労働分配率を悪くして行く、つまり労働者の給与を減らすということで利益を生もうとし、それが格差を拡大して行く、そういうことを警鐘している本だそうです。700ページ位ある本で、まだ日本語には訳されていませんが、翻訳されたら是非買って読みたいと思っています。

イスラム世界では金利というのがコーランで禁止されているそうです。そういう世の中もあるんだなと思います。

労働所得と資本所得があり、資本所得が圧倒的に有利なのが資本主義社会であるということも含め、これから日本は高齢化社会で労働者数が減って行く中、考えていかなければいけないんだなと思いながらテレビを見ました。今の数字がどんどん拡大していき、世の中を変革していくような事態、前の大戦の時のような混乱の社会になっていつては困ります。また、資本の蓄積が次の世代に回るとするのは、たとえば相続税の課税を強化するというようなことをすれば少しはまかなえるのかなと思います。資本主義の構造そのものが変わらないとなかなかむずかしいのかなと思いました。今日は卓話がなかったので、長くお話しさせていただきました。ありがとうございました。

親睦委員会報告

村越会員代理

今週は特に報告事項はございませんが、7月生まれの澁谷会員と藤尾会員が今日はお見えになっておりますので、お祝をしたいと思っております。



澁谷会員より

2ヶ月振りに参りました。昭和11年生まれで79歳になります。瀧日会員より一つ年下です。高齢ですので来年は暇をもらおうと思いましたが、隣にいる会長にだめだと言われました。来年は50周年記念だそうで、考えさせていただきます。



藤尾会員より

昭和23年8月6日、広島の前原爆投下の日に生まれています。広島近くの山口県の岩国という所で生まれました。親父は歯医者で東京に出てきて歯医者をやりましたが、私は歯医者は嫌いで医者になりました。66年というのは以外と長いようですが、自分ではまだ50代の中頃にしておこうと、さばを読んでもまだバレない、若く生きようと考えております。息子二人が医者になり、いずれ東邦病院を継いでくれると思っておりますが、人生ですから好きなように生きるかもしれません。誕生日のお祝、ありがとうございました。

あびこカップまつりの後援で公開講座を行いますのでご案内いたします。「食道がん」の手術で日本で5本の指に入る村上雅彦先生がお話していただきます。その時、当院の外科の部長が医療相談に応じます。9月の第4金曜日の午後に村上先生がセカンドオピニオンを受けていただきます。大学病院に行っても教授にはセカンドオピニオンを聞く事はできません。この先生に見てほしいという患者さんはたくさんいらっしゃいます。インターネットで昭和大学のホームページをご覧になって頂くと、かなりすごい医者だということがわかり頂けると思います。ありがとうございました。

出席報告

依田委員長

20名出席(全員で26名) 出席率76.9%

ロータリー財団セミナー報告

佐藤委員長



8月3日の第一日曜日に千葉で行われたロータリー財団セミナーに上村会長、服部幹事と行って参りました。

私自身が初めて行って、いい勉強になりましたので、報告を読んで頂ければわかって頂けると思うのですが、振り返ってみようと思っております。

正式名は国際ロータリーのロータリー財団だそうです。タンカーに例えるとロータリー財団はタンカーのエンジン部であり、財団の集める寄付金が重油にあたると思っております。

ロータリー財団の中でどのようにお金が回っているのか、初めてわかったのですが、年次基金寄付、恒久基金寄付、使途指定寄付の3種類あります。使い方は、日本赤十字とは違うシステムになっており、シェアシステムという仕組みで使われています。今年集めた寄付は今年中に使うのではなく、3年間いろいろ回して、運用益を使うようになっています。

補助金には地区補助金とグローバル補助金の2系統があります。ポリオプラス寄贈と平和センター寄贈の方に出すお金をまず最初に決めて、残りを地区補助金とグローバル補助金に50%ずつ出すそうです。

先日ある大臣が原発の保証問題で「最後は金目でしょう」と言って大変なひんしゅくを買いましたが、最後は私も役目上、お金のお話をさせていただきます。財団は最近寄付が減ってきているそうです。ぜひ寄付をお願い申し上げたいと思います。2790地区は年間1人130ドル以上を目標としています。ポリオの方は1人20~25ドルを目標として頂けるとありがたいそうです。

寄付をする為の申込用紙が事務局の方にありますので、ご希望の方は手続きの方は代行させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

奉仕プロジェクト委員会セミナー報告

小池委員長



8月10日(日)に奉仕プロジェクト委員会セミナーに出席して参りました。こちらは社会奉仕委員長と国際奉仕委員長が出席するとのことで、1時半から4時半頃まで行われた中で国際奉仕については30分位でした。

国際奉仕委員長よりお話しがあり、身近な国際奉仕から、小さい事から初めて下さいとのことでした。柏東RCの中村会員が前年度に地区補助金を活用してスリランカの貧困層の子どもたちへ学習教材を贈ったそうで、そのお話しをしてくださりました。
(次ページへ続く)

国際奉仕の定義としては、「国際奉仕は書物等を読む事や通信を通じて、更には他国の人々を助ける事を目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や習慣、功績、願い、問題に対する認識を培い、国際理解、親善、平和を推進するために会員が行う活動からなるものである」となっています。海外で、とは書いてありませんので、国内で活動してもいいという説明もありました。

昨年の国際奉仕のアンケートを各クラブで行ったのですが、実際に国際奉仕を実施しているクラブは2790地区の84クラブ中、32クラブしかありませんでした。姉妹クラブと締結しているクラブが25クラブ、我孫子のアイラのような地域の国際交流会との活動協力が7クラブありました。

ロータリー財団の地区補助金を利用しながら国際奉仕をしたらどうかという話もあり、最高30万円までは利用できるそうです。グローバル補助金については、最低1万5千USドル、最高20万USドルまで出るそうです。グローバル補助金については2カ国以上のクラブまたは地区が参加する国際プロジェクトでなければいけないそうですので、非常にむずかしいと思います。

米山奨学生を受け入れていますので、これも国際奉仕の事業ということになります。米山奨学生に来て頂いて、話を聞いて、理解する事も国際奉仕にあたると思いますので、そういうこともやっていきたいと思っています。

ロータリー情報研究会へのご協力のお願いについて

丸田委員長



松本ガバナー補佐を輩出しております我が我孫子ロータリークラブはホストクラブになっております。9月25日(木)に行われる情報研究会のご協力のお願いということで、プログラムを配布させて頂きました。

通常、情報研究会というのは基調講演とディスカッションという形ですが、今回は15時半時点で簡単ではありますが懇親会を設けたいと思っております。皆さんにご協力いただきたいのは、合同例会の内容です。合同例会終了後に情報研究会を行います。情報研究会のテーマとしては「ロータリークラブの夢、そして魅力とは」ということで、基調講演を柏東クラブの渡辺会員と柏南クラブの大内会員にお願いします。その後ディスカッションをして頂き、我孫子RCの方に各テーブルで書記をしていただき、その記録を各クラブにお渡しし、本年度の研修リーダーの方の資料として活用して頂ければと思います。

ホストクラブということですので、なにとぞ全員ご協力の程よろしくお願い致します。

分区からのお願いですが、10月16日(木)にクレストホテル柏にて開催される12分区(松戸地域)のIMで田中作次前RI会長の基調講演が行われます。登録料が一人1万3千円になっております。強制ではありませんので、お話を聞いてみたい方は是非参加して頂ければと思います。よろしくお願い致します。

幹事報告

服部幹事

特にございませぬ。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
澁谷会員	誕生日祝、ありがとう。	1,000円
藤尾会員	誕生日御祝い、ありがとうございます。	10,000円
星野会員	元気です。	1,000円
依田会員	8月23日(土)あびこカップまつり遊びに来てください。宜しくお願いします。	1,000円
当日計		13,000円
今期累計		83,000円

今週の表紙「佃煮 安井家」千葉県我孫子市本町3丁目5番1号

我孫子駅南口から徒歩3分の場所にある老舗の佃煮屋さんです。贈答シーズンにはお客様が絶えない人気のお店です。

創業昭和2年、東京の三ノ輪で佃煮を製造販売したのが安井家の佃煮の始まりで、我孫子の地へ移り60余年、安井家の佃煮は我孫子の名物として「ふるさと産品」にも選ばれています。お薦めは一番人気の「ざっこの佃煮」です。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。